

2024年

12月5日 木 開場 14:00
開会 14:30

日本女子大学 新泉山館 1階大会議室

東京都文京区目白台2-8-1

ファッションとテクノロジーの融合が進む中、衣服の生産・流通システムだけでなく、衣服そのものの役割や価値も、大きく変化しようとしている。本シンポジウムでは、本学被服学科の教員が各専門分野から話題を提供するとともに、ファッション研究者の藤嶋陽子氏をお迎えし、「ファッションテック」の系譜を辿りながら今後のファッションがどのようにテクノロジーと結びついていくのかを考察する。AI、ウェアラブルデバイス、サステナブル素材の開発など、テクノロジーがもたらす新たな潮流は、ファッション業界、衣生活、被服学の未来をどのように形作るのか、共に考えたい。

プログラム

第1部 14:30-15:10

被服学の立場からテクノロジーを語る

話題提供

被服人間工学 横井 孝志

被服構成学 武本 歩未

※いずれも日本女子大学家政学部被服学科所属

第2部 15:20-17:15

基調講演 「ファッションテック」の系譜：

未来のファッションを探究するためのテクノロジー

講師：藤嶋 陽子 氏

立命館大学産業社会学部・准教授

東京大学大学院学際情報学府満期退学。ロンドン芸術大学セントラルマーチンズでファッションデザインを学んだのち、ファッション研究に取り組む。ZOZO研究所リサーチサイエンティスト、明治大学商学部特任講師を経て現職。理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員、Synflux株式会社執行役員CCOを兼務。編著に『クリティカル・ワードファッションスタディーズ』（フィルムアート社、2022）、『広告文化の社会学：メディアと消費の文化論』（北樹出版、2024）など。

総合討論

申し込み

方法：右記、QRコードよりお申し込み下さい。

期日：2024年11月24日（日）

参加無料

事前申込 先着120名



お問い合わせ： hihukujwu@fc.jwu.ac.jp